

令和2年度 大野市教育方針

大野市の将来像「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち 越前おの」の実現のため、大野市教育理念に基づき、ふるさと大野の先人が培ってきた結の心と未来を切り拓く進取の気象を持つ、優しく、賢く、たくましい大野人を育てることに努めます。



教育理念	基本施策と具体的な施策 (教育に関する大綱)	本年度に重点的に取り組む事業	成果指標等 (●は第五次総合計画成果指標)	合言葉
SDGs(持続可能な開発目標)を意識 明倫の心を重んじ 育てよう 大野人	結の心あふれる人づくり ◆地域の特性を生かし、ふるさとに根ざした特色ある学校づくり ◆楽しく、生きがいのあふれる生涯学習の推進 ◆ふるさとに誇りと愛着を持ち、結の心を育む 家庭の教育力、地域の教育力の充実 ◆心豊かでたくましく生きる力を持つ 青少年の育成 ◆国際化・情報化社会に対応できる人づくり ◆小中学校の適正規模化	本年度に重点的に取り組む事業 ○学力の向上と安心して通える魅力ある学校づくりの推進 ・「魅力ある学校づくり調査研究事業」において、中学校区研究会が中心となって、すべての子ども達に自尊感情を育む学校づくりを推進する。 ・基礎学力の充実と主体的・対話的で深い学びを追求する教育を推進し、思考力、判断力、表現力を育て、確かな学力の向上を図る。 ・大野市学力調査や福井県学力調査、全国学力学習状況調査の結果を分析し、指導方法を改善するとともに、教員一人一人の指導力の向上を図る。 ・スクールソーシャルワーカーによる児童生徒をとりまく環境改善、臨床心理士による教育相談、24時間対応のメール相談の実施及びいじめの定義をもとにした幅広いいじめの認知により、いじめ・不登校の未然防止と早期発見・事案対応に取り組む。 ・関係機関との連携を強化し、児童虐待の未然防止や早期発見等、学校における適切な対応を図る。 ・結の故郷教育支援員や教育相談員、非常勤講師を配置し、児童生徒へのきめ細かな支援や指導の充実を図る。 ・関係機関との連携を深め、幼児期から小学校への発達と学びをつなぐスタートカリキュラムの充実を図る。 ・就学前教育から高等学校教育までのそれぞれの接続が円滑に行われるよう、子どもの交流や教職員の交流等を推進する。 ・大野市図書館の「新こねずみ文庫」の貸出や、ブックトーク、おはなし会、読み聞かせボランティアの派遣を実施し、本に親しむ子どもを育てる。 ○ふるさとを知り、ふるさとを創る教育の充実 ・大野の人・歴史・文化・伝統・自然・産業等を学ぶ教育を積極的に進めることにより、ふるさとへの誇りと愛着を育てる。 ・小学校4、5、6年生で、「大野の宝先人に学ぶ」や「わたしたちの結の故郷」を活用し、結の心を育てる。 ・小学校にALTを3名配置し、チームティーチングによる授業づくりを進め、言語活動を中心とした外国語教育の充実を図る。 ・小中学校で電子黒板やタブレット端末の活用を推進し、児童生徒の学力を高め、主体的・対話的に学習できる授業づくりに努める。 ○国際化・情報化社会に対応できる人づくり ・小学校にALTを3名配置し、チームティーチングによる授業づくりを進め、言語活動を中心とした外国語教育の充実を図る。 ・小中学校で電子黒板やタブレット端末の活用を推進し、児童生徒の学力を高め、主体的・対話的に学習できる授業づくりに努める。 ○特別支援教育の推進 ・特別な配慮を必要とする児童生徒の個別の支援・指導計画の作成や活用を進め、一人一人のニーズに応じた途切れない支援を行う。 ・障害のある児童生徒に対して、学びやすく、生活しやすくなるために必要な合理的配慮を行い、学習活動の充実を図る。 ○健やかな体の育成 ・全国体力・運動能力、運動習慣等の調査を活用し、体育授業やアクティブワン活動等を通して、児童生徒の体力の向上を図る。(短距離走やボール投げを重点種目とする。) ・農業体験や味覚と食の楽しさを学ぶ授業、地場産学校給食等を通して、食育を推進する。 ○キャリア教育の推進 ・小学校において、体験的な活動を通して地域の人たちと触れ合う中で、働くことの意味の理解や社会参画意識の醸成を図る。 ・中学校において、職場体験学習やさまざまな職業の人たちの体験談を聞くことを通じて、働くことの意味や大切さの理解を深め、望ましい職業観を育てる。 ○学校教育環境の整備 ・「学校業務改善方針」及び「部活動の在り方に関する方針」に基づき、教職員の働き方改革を推進する。 ・児童生徒が安全で安心して学校生活を送れるよう、校舎等の修繕や管理備品等の整備を効率的及び計画的に進め、教育環境の充実を図る。 ・全ての子どもが、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるよう、経済的に就学困難な児童生徒の保護者に就学援助費を支給する。 ・安心して子どもを生み育てられる環境を整え、子育て世代を支援するため、第3子以降の児童生徒の学校給食費を無償化する。 ・より良い教育環境の整備に向けて、保護者や地域住民等の意見を参考にしながら、小中学校の再編計画を見直した再編計画(案)を作成する。 ○生涯学習の推進 ・生涯学習センターや公民館、図書館等で行う講座や教室等を創意工夫し、人生100年時代を見据えた人づくりができるよう、いつでも、どこでも、だれもが、いつまでも学べる学習環境を整備するとともに、多くの市民が参加できる情報の提供に努める。 ・ふるさと大野今昔物語事業において大野の歴史・文化・伝統が記録された写真を活用した「むかし語り」を実施したり、「昭和のこどもたち」のパネルを展示したりして、ふるさと大野を大切に思う心と結の心を育てる。 ・人権に関し、市民一人ひとりが正しい知識を持ち、人権尊重の意識を高めるための学習や啓発活動を実施する。 ・生涯学習及び持続可能な地域づくりの観点で、公民館のあり方について関係課室とともに検討する。 ○地域を担う人材養成 ・青少年育成大野市民会議に参画する団体と協力し、小中学校区の活動や研修会、啓発手紙、推進大会の実施等を通して、青少年健全育成活動の推進を図る。 ・中高生のジュニアリーダー活動を通じ、子どもたちのリーダー的な役割を担う人材を育成する。 ・大野へかえろう事業において、大野ポスター展で制作されたポスターや、楽曲、写真集を活用し、大野の魅力の気付きと故郷を愛する心を醸成する。 ・青年活動事業において、地域活動を担う市内青年グループの発掘と育成を図るとともに、青年活動の活性化を通して、若者の自然な出会いや交流を促進する。 ・成人式事業を実施し、成人を祝い、成人としての自覚を促すとともに、実行委員会の企画を通してふるさと大野を見つめ直す機会をつくり、相互の交流を図る。 ○家庭教育力、地域教育力の向上 ・「結の故郷ふるさと教育推進計画」に基づき、小学生対象の「ふるさと芸能発表会」、公民館が行う「人づくり学習事業」、ジュニアリーダー活動や子ども会活動の少年教育を通して、地域教育力の向上を図る。 ・「結の故郷ふるさと教育推進計画」に基づき、子育てに関する学習や親子のふれあい講座を通して、家庭教育力の向上を図る。 ・「第三次大野子ども読書活動推進計画」に基づき、関係機関と連携して家庭での子どもの読書環境を整える支援を行う。また、図書館資料を利用した定期的な学習会の開催や読書感想文等の夏休みの宿題に対する支援等、赤ちゃんから高齢者まで各年代に応じた図書館サービスの提供に努める。 ・図書館の利用環境の改善を図るため、北側駐車場の拡張整備を実施する。 ・放課後子ども教室において、利用人数の増加に伴う安全確保の対策に取り組みながら、子どもの安全で安心な居場所を確保するとともに、地域住民との交流事業を通して「地域の子どもは地域で育てる」意識の向上を図る。 ・夏休みの平日、中学生の居場所を作り学習を支援する場所として、公民館の各1部屋を開放する。 ○世代間交流の充実 ・世代間交流事業を実施し、昔遊びや昔話、農業体験等、人々が持つ技能や知識を学びあう体験を通して、人間性豊かな大野人の育成に努める。 ○国際感覚のある人づくり ・講座や教室、ジュニアリーダー活動、放課後子ども教室等で、英会話教室や国際理解を深める事業を行い、国際感覚を養う。	成果指標等 (●は第五次総合計画成果指標) ●「将来の夢や目標を持っている」小学校6年生、中学校3年生の割合 小学校 [R1実績: 89%] [R2目標: 100%] 中学校 [R1実績: 83%] [R2目標: 100%] ○全国学力・学習状況調査の市平均値と県平均値の比較 小学校 [R1実績: 同等] [R2目標: 上回る] 中学校 [R1実績: 下回った] [R2目標: 上回る] ○全国体力・運動能力運動習慣等調査の体力合計点 (市平均値と全国平均値の比較) 小学校 [R1実績: 上回った] [R2目標: 上回る] 中学校 [R1実績: 上回った] [R2目標: 上回る] ○「学校が楽しい」と答えている小学生、中学生の割合 小学校 [R1実績: 94%] [R2目標: 100%] 中学校 [R1実績: 94%] [R2目標: 100%] ○不登校児童生徒数および1,000人あたりの不登校児童生徒数 小学校 [R1実績: 7人, 1000人あたり 4.6人] [R2目標: 下回る] 中学校 [R1実績: 24人, 1000人あたり 30.2人] [R2目標: 下回る] ○いじめの解消率 小学校 [R1実績: 75%] [R2目標: 100%] 中学校 [R1実績: 20%] [R2目標: 100%] ○地域行事への参加率 小学校 [R1実績: 86%] [R2目標: 90%] 中学校 [R1実績: 67%] [R2目標: 70%] ●ICT機器の活用率 小学校5・6年 [R1実績: 87%] [R2目標: 100%] 中学校5教科 [R1実績: 73%] [R2目標: 100%]	合言葉 「行こう人」も「見る人」も「支える人」もみんなが主役
	市長部局との連携強化 ○「総合教育会議」 ○小中学校再編計画 ○文化会館の整備 ○文化的遺産の保存と活用 ○自然遺産の保護と活用 ○スポーツツーリズムの推進 ○健康のまちづくり ○人権尊重社会の実現 ○子ども子育て支援事業 ○男女共同参画社会の推進 ○食育に関する事業 ○公共施設の再編 ○働き方改革の推進 ○児童虐待の防止対策 など	豊かな心を育む文化力育成 ◆文化的遺産の保存と活用 ◆文化芸術の振興 ◆豊かな心を育む 文化施設の整備と充実	本年度に重点的に取り組む事業 ○文化的遺産の保存と活用 ・大切に守り伝えられてきた指定文化財・登録文化財の保存と継承、新たな文化財の発掘に向けた調査を行うとともに、文化的遺産の活用を図る。 ・文化財保存活用地域計画策定に向け、郷土に伝わる文化的遺産の保存や管理状況を調査し、情報収集と整理作業を実施する。 ・国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の環境改善を図り、本願清水に生息する淡水型イトヨの保護に努める。 ・博物館において特別展や企画展を開催し、郷土に伝わる文化的遺産に対する市民の関心と興味を高める。 ・結の故郷伝統文化伝承条例に基づき、「おのの遺産」を認証し、地域に受け継がれてきた風習や伝統芸能の伝承、景観の保全等に努める。 ○自然遺産の保護と活用 ・「大野市和泉地区化石保全活用計画」の推進を図り、化石及び産出地の保全や調査研究を行い、生涯教育や学校教育に活用する。 ・県内外の研究機関と協力して、化石及び産出地の保全と調査研究を行う。 ・化石に関する企画展を開催し、全国的にも貴重な化石の産出地であることを市内外に情報発信し、化石産出地の保全に努める。 ○文化芸術の触れ合いと地域の文化芸術資源の活用 ・第54回大野市総合文化祭を開催し、伝統あるふるさとの文化を継承するとともに市民相互の交流を促進し、文化芸術の振興を図る。 ・大野市文化協会の創立70周年記念事業を支援し、市民の継続的な文化活動の推進を図る。 ・第41回大野市美術展を開催し、創作活動の活性化を図り、芸術に対する関心と理解を高めるとともに、市民に美術体験の機会を提供する。 ・文化会館においては、文化講演会や子どもオペラ公演等、優れた文化芸術に触れる機会を提供する。また、新たな文化芸術事業の手法を検討し、内容の充実を図り、本施設の利活用及び適正な維持管理に努める。 ・市民団体が行う文化芸術活動に対しては、文化公演事業補助を活用し、積極的に支援する。本制度の周知を図り、活用を促進する。 ・「COCONOアートブレイス」を市民の文化芸術の交流拠点と位置付け、市民所有の価値ある絵画の活用や、ゆかりのある芸術家の企画展やワークショップ等を実施する。また、SNSを利用した情報発信の充実や商店街との連携の促進、年間パスポートの発行を契機とし、一層の観覧者の増加を図る。 ○文化会館の整備 ・文化会館整備基本計画を基に基本設計を実施し、文化芸術振興の拠点施設の整備に取り組む。併せて、新文化会館の運営についても検討を行う。 ○文化施設の適切な維持管理 ・市指定文化財である民俗資料館の保存活用計画に基づき、博物館相当施設として整備を進める。 ・博物館施設の適切な維持管理に努め、収蔵資料を生涯教育や学校教育で活用する。	成果指標等 ●指定等文化財件数(国・県・市)(累計) [R1実績: 142件] [R2目標: 143件] ○結の故郷伝統文化「おのの遺産」の認証(累計) [R1実績: 18件] [R2目標: 20件] ●市が支援する音楽会や演劇等の文化公演等の実施回数 [R1実績: 6回] [R2目標: 16回] ○大野市美術展の来場者数 [R1実績: 1,932人] [R2目標: 2,000人] ○COCONOアートブレイス年間来館者数 [R1実績: 23,253人] [R2目標: 50,000人] ○COCONOアートブレイス年間観覧者数 [R1実績: 4,181人] [R2目標: 10,000人] ○和泉郷土資料館企画展入館者数 [R1実績: 1,121人] [R2目標: 1,200人] ○大野市歴史博物館入館者数 [R1実績: 4,124人] [R2目標: 4,400人]
	活スポあふれる社会の実現 ◆市民の誰もがスポーツに親しむ 生涯スポーツの推進 ◆福井しあわせ元気国体に向けた 競技力の向上と 市民スポーツの振興 ◆スポーツに親しむ 環境の充実	本年度に重点的に取り組む事業 ○スポーツを通じた健康づくりの推進 ・健康のまちづくりを目指して、関係課等と連携し市民の健康意識の向上を図り、スポーツへの参画を促進する。 ・「巡回ラジオ体操、みんなのラジオ体操」を招へいし、多くの参加者を集めてラジオ体操の一層の普及を図る。 ○スポーツに触れる機会の充実及び競技力の向上 ・越前大野水マラソンでは多くの市民ランナーの参加を募るとともに、市外からのランナー・応援者に大野の魅力とおもてなしの心を存分に伝え、今後の誘客等につなげる。 ・スポーツ教室やスポーツイベント等への参加を促進し、市民の体力向上と健康の保持・増進を図る。 ・各競技団体による市民スポーツ大会の開催を支援し、スポーツ実践機会の維持・拡大を図る。 ・障害のある人も気軽にスポーツに親しめるよう指導者の養成や体験会等を開催し、障害者スポーツの普及に努める。 ・B&G施設を活用した特色ある海洋性レクリエーションスポーツの内容を充実し、利用促進に努める。 ・団体開催競技のさらなる普及・強化を図るため、自転車イベントやカヌー教室を開催するとともに、相模競技の普及・強化のため団体等への支援を行う。 ・市スポーツ協会の活動を整理するとともに、市スポーツ協会加盟団体の活動を充実を促す。 ・ジュニア世代の育成強化を図るため、スポーツ少年団や中学生ジュニアクラブへの支援を行うとともに、指導者の資質向上に資する講習会の開催や全国大会等の出場への支援を行う。 ・スポーツの振興を図り、明るく豊かで活力のある社会の実現を目指すために策定しているスポーツ推進計画の改訂に向けて、スポーツ推進審議会委員や公募委員等による(仮称)スポーツ推進計画策定部会を立ち上げる。また、令和3年度計画改訂に向けて、市民アンケート調査を実施する。 ・令和3年度全国高等学校総体大会(インターハイ)の自転車ロード競技の実施に向けた競技種目別委員会を立ち上げて準備を進める。 ○東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした市民スポーツの振興 ・本市でのオリンピック聖火リレーやパラリンピック聖火となる種火の採火イベントを通して、オリンピック等に向けた機運の醸成を図る。 ・魅力あるイベント・教室を開催し、オリンピック等により高揚したスポーツへの関心を市民のスポーツ振興につなげる。 ○スポーツ施設の整備と充実 ・各施設の適切な管理に努めるとともに、施設の補修・改修、機器の更新などを行い、スポーツ環境の充実を図り利用促進に努める。 ・子育て世代を支援するため、夏休み期間中にB&G塾を2回開催し、子ども居場所づくりと様々な体験学習ができる機会の提供を行う。また、子どもや親子連れ等が天候に左右されず気軽に利用できるよう、夏休み・冬休み期間中の休館日にエキサイト広場のアリーナ等を無料開放する。	成果指標等 ○名水マラソン参加者数 [R1実績: 4,648人] [R2目標: 5,000人(中止)] ●みんなでスポーツ参加者数 [R1実績: 2,215人] [R2目標: 2,500人] ○B&G施設利用者数 [R1実績: 39,315人] [R2目標: 38,000人] ●スポーツ施設利用者数 [R1実績: 255,833人] [R2目標: 300,000人]	合言葉 「行こう人」も「見る人」も「支える人」もみんなが主役